

第9回全員協議会会議記録

開 閉 会 日 時	令和6年1月15日（月曜）		午前11時30分 開会			
	休 憩	12:00-13:30	13:38-14:25			
	午後 2時34分 閉会					
会議場所	本会議場					
出席議員 氏 名	議 長	梶澤 幸治	議 員	早苗 豊	議 員	小笠原 等
	副議長	鈴木 健充	議 員	立川 美穂	議 員	木村 淳彦
	議 員	西尾 一則	議 員	渡辺洋一郎	議 員	伊藤 稔
	議 員	常通 直人	議 員	堀切 忠	議 員	菊池 秀明
	議 員	正村紀美子	議 員	橋本 和仁		
	議 員	中村 和宏	議 員	中田智恵子		
欠席議員 氏 名	(早退) 橋本和仁					
説明等に 出席した 者の氏名						
事務局職員	事務局長	安田 敦史	総務係長	竹川 恭史	総務係主査	上田瑞紀
『会議に付した事件と会議結果など』						
1 開 会						
議長が開会を告げ、事務局が日程を説明し協議する。						
2 議 件						
(1) 協議事項						
ア 第2回モニター会議の総括案について					資料1	
イ 白樺高校との包括連携協定事業（3学年）総括案について					資料2	
ウ 押印見直しに係る例規の改正案について					資料3	
エ 令和6年度議会費予算案について					資料4	
オ 令和6年度議員研修計画案について					資料5	
カ 外部評価による議会活動の精査と向上について					資料6	
3 その他						
2 議 件 (1) 協議事項						
ア 第2回モニター会議の総括案について					資料1	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 渡辺議員：11月29日に開催したモニター会議の総括案を議運（第21回：令和5年12月20日）で整理した。モニター会議で出された意見については、すでに2度の「新嵐山スカイパーク経営改革調査特別委員会（第8回委員会：12月1日開催／第9回委員会：12月7日開催）」を通じて共有していることから、資料の「5：議論を踏まえた共通認識」と「6：議論のまとめ」に整理し、また「7：総括」は、モニター会議の結果を議会として、どのように活用・反映したかという視点で整理 						

したので協議いただきたい。

- ・議 長：意見・質疑はないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・議 長：異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・議 長：説明のとおり総括として決定する。

イ 白樺高校との包括連携協定事業（3学年）総括案について 資料2

・渡辺議員：事業根拠・事業目的は説明を割愛し、実施日時は資料のとおり、12月4日～6日の3日間で委員会単位で対応した事業である。「4：総括」として、「（1）成果」は目的は概ね達成とし、「（2）課題」は実施時期及び設問内容の次年度に向けての再考。「（3）今後の取組み」は、いただいた意見を今年度の活性化策に掲げた「広報広聴の機能拡充と手法の改善」の参考とすることとした。総括について御協議いただきたい。

- ・議 長：意見・質疑はないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・議 長：異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・議 長：説明のとおり総括として決定する。

ウ 押印見直しに係る例規の改正案について 資料3

・総務係長：国（内閣府）の「押印手続きの見直し・電子署名の活用促進について（マニュアル）」を踏まえて、本町議会として対応しようとするもの。3月議会への提案により関係例規の「記名押印」を廃止しようとするものである。

- ・議 長：意見・質疑はないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・議 長：異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・議 長：説明のとおり決定する。

エ 令和6年度議会費予算案について 資料4

・総務係長：新年度予算案について、前年当初との変更に係る特筆すべき事項は3点。一つには議員共済費の率の減による予算減。二つには議長タクシー借上予算は、これまで一括（総務課計上）予算計上だったものが所管計上（議会費）となったこと。三つには人件費・物価高騰により基本単価の増による予算増である。

- ・議 長：意見・質疑はないか？
- ・西尾議員：議員共済費の予算減について、詳細を説明願いたい。
- ・総務係長：議員共済費は、毎年4月1日の実議員数に一定率を乗じて支出するしくみとなっている。本町議会においては、前年度当初予算では16名を計上していたが4月1日時点では2名が欠員のため14名の執行となっている。このため、

今年度は16名に対し負担することになるため、昨年度の決算額との比較では増となっているが、これは議員数の影響によるものである。

- ・常通議員：委員会の先進地事務調査に係るバス借上料が、日帰りとなっているが、過酷な行程ではないか？健康管理にも留意した予算措置が適正と感ずるがいかか？
- ・事務局長：出張行程については、庁内全体の共通した考え方を前提に必要経費を積算しているが、御意見を踏まえて、事業の目的達成に向けて、費用対効果と常識的な勤務環境を重視しながらの予算積算に努める。
- ・議長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・議長：異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・議長：説明のとおり決定する。

オ 令和6年度議員研修計画案について 資料5

- ・渡辺議員：今年度予定の研修をすべて完了したことから、議運で、新年度に向けての案（たたき台）を整理したものである。案の考え方は、年度当初に策定した「活性化計画」に位置付けてあるものの取り組むことができていないテーマや、今年度の議会活動において強化すべきと捉えたテーマを抽出し整理したものである。本日は内容を共有し意見をいただき、次回の全協を目標に案を確定して、新年度に入って速やかに事業がスタートできるよう、講師との調整を進めて実現を目指したい。
- ・議長：意見・質疑はないか？
- ・常通議員：これまでの会議の中で、佐藤淳先生（青森大学教授）について、議会サポーターを打診してはという意見をしたが、その後の対応は？
- ・渡辺議員：次年度の研修については、事務局長を通じて日程調整中であり、本町の議会サポーターの承引についても、すでに内諾を得ており、次年度の研修講師として来庁された際に、正式な手続きを進めることができるように、今後の議運や全協で合意形成と情報共有を図っていききたい。
- ・西尾議員：各研修について、「主催」は決まっているのか？
- ・早苗議員：研修の実施は、あくまでも主催、は議会（運営委員会）とし、経費の執行元が公費か議員会として、議員会への負担を再考してはいかかか。
- ・西尾議員：議員会主催となる際には、議運から下請けのような流れではなく、正式な一定の手続きを経ることも検討していただきたい。
- ・常通議員：政務活動費の導入検討に併せて、当該研修計画についても見直すべきと考える。議員会から予算を執行して研修を実施することには疑問がある。
- ・立川議員：議員会の規約に明確に「研修」の位置付けもあるので、決して根拠がないわけではない。
- ・議長：他にないか？資料の説明のとおり、次回の全協を目標に案の確定に向けて取り組んでいく。

- ・(意見・質疑なし)
- ・議長：異議ないか？
- ・(異議なし)
- ・議長：説明のとおり決定する。

- ・議長：13時30分まで昼食休憩とする。

- ・議長：休憩を取り消し、会議を再開する。お諮りする。当日提案として「議会費補正予算（1月臨時会議）について」及び今年度の研修として追加実施する「議員研修（帯広市開催）について」の2件を協議事項に追加したい。異議ないか？
- ・(異議なし)
- ・委員長：決定する。

● 議会費補正予算案（1月臨時会議）について 当日追加資料1

- ・総務係長：新嵐山スカイパーク経営改革調査特別委員会として、道内外の視察に係る委員派遣関連経費を1月臨時会議に提案しようとする補正予算の基礎資料である。なお、1月臨時会議の日程は正式には1月24日の議会運営委員会で（1月31日に開催）決定となるが、あらかじめ、庁内の予算審査の手続を経なければならず、本日、前倒しで補正予算の考え方について協議することを御理解いただきたい。現時点では概算経費であり、今後1週間以内に、視察予定先との日程協議を完了し、併せて各視察先への派遣委員が確定するため、実際の補正予算提案額については、本日の資料の概算額と異なることが想定されるが、事務局一任として決定いただきたい。
- ・議長：意見・質疑はないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・議長：異議ないか？
- ・(異議なし)
- ・議長：説明のとおり決定する。

● 議員研修（帯広市開催）について 当日追加資料2

- ・渡辺議員：資料のとおり、帯広市議会から研修参加の案内があった（日時、場所、演題、講師等）。次年度に本町議会として開催を予定していたテーマ「ハラスメント」であることから、前倒しで全議員を対象に参加することについて、協議いただきたい。
- ・議長：質疑・意見はないか？
- ・(質疑・意見なし)
- ・議長：定例会の休会中につき、議長による議員派遣決定により、参加することに異議ないか。
- ・(異議なし)
- ・議長：全議員の派遣を決定する。

カ 外部評価による議会活動の精査と向上について 資料6

- ・渡辺議員：今年度、議会活性化計画主要事業に掲げた「外部評価による議会活動の精査と向上について」全議員による議員間討議により、方向性を導きたい。なお、あらかじめ、議運内で整理したこれまでの「外部評価の検討状況」について共通認識を図り、その後、議員間討議を行いたい。
- ・議 長：意見・質疑はないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・議 長：議員間討議を行うため、休憩とする。

（休憩）

- ・議 長：休憩を取り消し会議を再開する。「ラウンド1：PDMシートを活用した外部評価手法について、議会活動に適しているのか。これまでの分析と評価」及び「ラウンド2：今後の『外部評価』についての考え方や方法など」について、各グループごとに発表を求める。
- ・菊池議員：Aグループは、「ラウンド1」については、PDMシートの考え方自体は有効であるが、PDMシートを完全に理解すること自体が難しく、簡素に外部評価してもらう仕組みが必要であるとのとまとめとなった。ただし、このPDMシートを議会活動の評価手法とすることは困難性はあるものの、評価自体は必要であり、PDMシートを研究した取組みは十分に意義あるものと評価した。また、「ラウンド2」については、議会活動の外部評価は必要不可欠であり、内部評価のみでは自己満足で終わってしまうため、個別の議会活動の評価は最低限必要であると整理した。よって、議会活動ごとに事業終了後に実績を総括し、それを踏まえて外部（議会モニターや議会改革諮問会議委員）の意見を伺いフィードバックすることで、最終的な評価の精度を高めることが可能であるとまとめた。
- ・伊藤議員：Bグループは、「ラウンド1」については、このシートは全ての議会活動に適用するとは言えないが、進捗管理としては、目的と手段が明確になると整理した。「ラウンド2」については、外部評価自体の重要性は議員共通の認識であり、その手法は、議会モニターや議会改革諮問会議委員の意見を伺うことが良いのではないかという意見となった。
- ・常通議員：Cグループは、「ラウンド1」については、PDMシートを活用して外部評価につなげようとする議会の取り組みは評価すべき実績と整理した。その結果、課題としては、議会活動をPDMシートで評価するには、JICAのプロジェクトと議会活動は趣旨が一致しないため、現時点では議会活動の外部評価の手法としては馴染まないまとめた。「ラウンド2」については、議員共通の考えとして、外部評価の必要性はあるとし、今後の具体的な外部評価の手法については、アンケートの活用（住民・議会モニター・諮問委員・議会サポーター等）を具体例としてまとめた。
- ・議 長：それぞれ違うグループのまとめに対して、意見・質疑はないか？

- ・渡辺議員：グループ発表を踏まえて、議会運営委員会での協議に反映したい。なお、議会運営委員会として活性化計画の課題解決に向けて、今後も議員間討議の手法を用いて議会全体として共通認識を図っていきたい。
- ・議長：本日の各グループのまとめを踏まえて、議運で整理し、改めて全協で共通認識を図る。なお、今後も議会活性化計画主要事業の活性化策について、適宜議員間討議により方向性を検討していく予定であることを申し添える。

3 その他

- ・議長：「その他」で各議員からないか？
- ・常通議員：当日資料については、数分間で構わないので、事前確認の時間を配慮願いたい。
- ・議長：意見として伺う。今後の委員会等においては、議長もしくは委員長が適宜判断し取り扱うこととしたい。
- ・議長：事務局からないか？
- ・(なし)

以上で会議を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	1名	合計	0名
------	-----	----	-------	----	----	----

記載のとおり報告する。

令和6年1月15日

芽室町議会議長 梶澤幸治